

国道2号 関門トンネル 連絡調整会議 議事概要

1. 開催概要

日時：令和7年5月29日（木） 10：00～11：00

場所：国土交通省九州地方整備局 会議室

2. 出席者

国土交通省

中国地方整備局 道路部長 大江 真弘 （代理：道路調査官 梅林 幾彦）

九州地方整備局 道路部長 三保木 悦幸 （代理：道路調査官 小林 秀典）

山口県 土木建築部長 仙石 克洋

福岡県 県土整備部長 馬渡 真吾

下関市 都市整備部長 即席 久弥 （代理：都市整備部 部次長 浅井順一）

北九州市 都市戦略局長 小野 勝也 （代理：計画部 部長 南 孝昌）

西日本高速道路株式会社 九州支社 保全サービス事業部長 荒平 裕次

3. 議事概要

＜西日本高速道路株式会社より、関門トンネルについて説明＞

- 令和7年9月に西日本高速道路株式会社が関門トンネルの管理を開始して20年を迎えるにあたり、有識者委員会を開催し、令和7年4月18日に中間とりまとめを公表した。
- 具体的には、今後も利用者負担を継続しながら、予防保全や更新を実施し、長期的な健全性を確保することが必要であることや、安全性や利便性の向上等の機能向上、建設資材価格や労務費等の上昇など取り巻く環境への変化への対応、インフラ管理への理解促進の取り組みも継続的に実施することが必要といった内容が、有識者委員会の提言としてとりまとめられたところ。

＜自治体（2県2市）からの意見＞

- 関門トンネルは、下関市と北九州市、山口県と福岡県、本州と九州を結ぶ幹線道路であり、地域を支える重要な道路である。
- 多量の湧水の排水の必要性や海底トンネルの特殊な構造の管理といった関門トンネルの特殊性と西日本高速道路株式会社が実施してきた管理の大変さを改めて確認した。
- 維持管理有料道路の制度のもとでの西日本高速道路株式会社により適切に管理していただいており、地域としては、現行の維持管理有料道路の制度を適切に活用して、老朽化する施設の予防保全・更新や、安全性や利便性の確保を図っていただくなど、今後も安全・安心な交通が確保されるよう取り組んでいただきたい。

<地方整備局からの情報提供>

- 関門トンネルの今後の維持管理について、他の道路と比較して特殊な設備や機械装置などを有しており、日常の維持管理の確実な実施や老朽化に対する修繕の必要性などを踏まえ、維持管理有料道路制度の期限を延長するための政令改正に向けた手続きを今後進めていくと国土交通省本省より聞いている。